

改定のポイント（案）

最新の将来都市構造と移動の実態を踏まえた交通体系の見直し

- 重点検討ポイント① ➤ 交通手段やルート等適切な交通体系の見直しを検討します。
- 重点検討ポイント② ➤ 広域の移動環境との連携のあり方等について検討します。

快適かつ災害に強い都市を支える実現性の高い道路網の再構築

- 重点検討ポイント③ ➤ 災害時の緊急輸送道路網の強化等、道路網の再構築を検討します。
- 重点検討ポイント④ ➤ 新市街地を含めた将来の市全体の道路網のあり方を検討します。

モノレールやバス等の公共交通のさらなる利用促進に向けた方針検討

- 重点検討ポイント⑤ ➤ 公共交通環境の利用促進に向けた方針を検討します。
- 重点検討ポイント⑥ ➤ 将来の都市構造を踏まえた公共交通体系のあり方を検討します。

公共交通による移動が困難な状況の改善を図る持続可能な施策の検討

- 重点検討ポイント⑦ ➤ 公共交通不便地域の改善に向けた取組方針を検討します。
- 重点検討ポイント⑧ ➤ 移動困難な状況を抱える方に対する取組方針等を検討します。

安全で快適なウォーカブルな環境の創出に向けた方針検討

- 重点検討ポイント⑨ ➤ 徒歩による移動促進に向けた歩行環境の創出に向けた方針を検討します。
- 重点検討ポイント⑩ ➤ ウォーカブルと連携した移動手段の安全で快適な走行環境の整備等に関する取組方針を検討します。

環境負荷の低減に対する交通政策の効果の示し方の検討

- 重点検討ポイント⑪ ➤ 交通政策の寄与する効果を明らかにする等、環境負荷低減の交通分野における推進方策を検討する。

課題

※（ ）は特に関連性が強い重点検討ポイントの番号を記載

【課題 1】公共交通の利用促進

- 課題 1-1：公共交通網と地域内公共交通網の連携強化が必要（①②⑤）
- 課題 1-2：市内の拠点間を移動できる公共交通ネットワークの構築が必要（①⑤）
- 課題 1-3：新たな交通手段の導入等、公共交通不便地域の解消に向けた取組検討が必要（①⑦）
- 課題 1-4：高齢者や児童等を含む移動制約者の移動を支える交通環境の整備が必要（①⑥）
- 課題 1-5：利用者ニーズや交通環境の変化に対応した公共交通サービスの充実が必要（①⑥）

【課題 2】安全・安心なまちを支える交通基盤づくり

- 課題 2-1：緊急車両等が通行可能な緊急輸送道路ネットワークの整備が必要（③）
- 課題 2-2：幹線道路と生活道路の機能分担による適切な交通誘導と生活道路の安全性向上が必要（⑨⑩）
- 課題 2-3：自転車安全に移動できる交通環境の整備が必要（⑩）
- 課題 2-4：住宅地における防災性向上や避難路確保に向けた道路空間の整備が必要（③）

【課題 3】複数交通手段が乗り入れる交通結節点の利便性向上

- 課題 3-1：移動手段の確保に向けた交通結節点の機能強化が必要（⑤）
- 課題 3-2：誰もが移動しやすい交通環境の形成が必要（⑤）

【課題 4】渋滞の少ない道路環境の構築

- 課題 4-1：中南部都市圏の広域交通を支える骨格的道路ネットワークの強化が必要（①②）
- 課題 4-2：牧港補給地区返還後等の将来の土地利用も見据えた道路ネットワークの検討が必要（④）
- 課題 4-3：道路拡幅や交差点改良による道路混雑の解消に向けた検討が必要（①）

【課題 5】歩きたくなるウォーカブルな交通環境の創出

- 課題 5-1：沿道の土地利用と連携した歩いて楽しい歩行空間の整備が必要（⑨）
- 課題 5-2：快適に移動できる道路空間の整備が必要（⑨⑩）
- 課題 5-3：徒歩移動時に休憩できる場所の整備が必要（⑨⑩）
- 課題 5-4：気温上昇に対応した歩行空間の遮熱対策等が必要（⑨⑪）